

第5回円空大賞円空賞

藤森照信（ふじもりてるのぶ）



プロフィール

- 1946年：長野県茅野市に生まれる
- 1971年：東北大学工学部建築学科卒業
- 1978年：東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程満期退学
- 1983年：著書『明治の東京計画』（岩波書店）で毎日出版文化賞及び東京市政調査会藤田賞
- 1986年：著書『建築探偵の冒険東京篇』（筑摩書房）でサントリー学芸賞
「東京建築探偵団・路上観察学会研究調査活動」により日本文化デザイン賞
- 1991年：建築作品「神長官守矢史料館」（長野県茅野市）
- 1993年：著作『日本の近代建築（上下）』（岩波書店）
- 1995年：建築作品「タンポポ・ハウス」（東京都国分寺市自邸）、著作『伊東忠太動物園』（筑摩書房）
- 1997年：建築作品「赤瀬川原平氏邸（ニラ・ハウス）」により日本芸術大賞
建築作品「秋野不矩美術館」（静岡市天竜市）
- 1998年：「日本近代の建築・都市の研究」の一連の論文により日本建築学会賞
- 1999年：著作『タンポポハウスのできるまで』（朝日新聞社）
- 2001年：建築作品「熊本県立農業大学校学生寮」により日本建築学会作品賞
- 2002年：著作『丹下健三』（新建築社）、『藤森照信の原・現代住宅再見』（TOTO 出版）
- 2003年：著書『建築探偵、本を伐る』により第一回毎日書評賞受賞、建築作品「矩庵」（京都市）
- 2004年：建築作品「高過庵」（長野県茅野市）
- 2005年：建築作品「養老昆虫館」（神奈川県箱根町）、「茶室徹」（山梨県北杜市）
著作『人類と建築の歴史』（筑摩書房）
- 2006年：第10回ベネチア・ビエンナーレ建築展で日本館コミッショナーを務める
- 2007年：第10回ベネチア・ビエンナーレ建築展帰国展を東京オペラシティにて開催
著作『藤森照信建築』（TOTO 出版）

選評

藤森照信氏は建築史家であるが、彼の活躍はまさに自由自在。赤瀬川原平氏らとともに「路上観察学会」を結成し、街の中の実に興味深いものを見出すことによって、生きる都市を改めて考察するきっかけを提供しているが、彼はまた建築家として大変独創的な建物を設計する。それは彼が子どものときに「こんなものがあつたらいいな」と思った建物であるという。それはわれわれを子どもの夢の世界に誘う。藤森氏はわれわれの気づかなかった伝統の再発見者といえようか。氏の八面六臂の活躍に心からの拍手を送るものである。



矩庵（2002-2003年制作）



高過庵（2003年制作）



茶室徹（2005年制作）



養老昆虫館（2003-2004年制作）



ねむの木こども美術館（2004-2005年制作）